



特定非営利活動法人チーム学校給食&食育ニュース N02

2018年 11月
特定非営利活動法人チーム学校給食&食育
東京都渋谷区桜丘町29-31-203

当法人は、学校給食に関係する個人・団体・企業がチームになり、学校給食関係者及び子どもたちに対する食育を応援する目的で、昨年9月に設立し、1年が経ちました。法人内に「研究活動委員会」「国際委員会」「調理指導委員会」「献立開発委員会」の4つの委員会を設置し、活動しています。今回は、国際委員会の活動の一部をご紹介します。



一つ目は、9月18日(火)から3日間、中国疾病予防管理センター(CDC)の派遣でCDC職員や北京市等の学校給食担当者6名が、学校給食の視察のため、来日しました。中国においては、北京市や上海市などの大都市では、学校給食が実施されているものの、農村部では貧困家庭が多く、栄養補給のための学校給食実施が課題となっています。中国政府は子ども一人一日当たり、4元(64円)の補助を行っていますが、

<埼玉県立所沢特別支援学校で説明を受ける中国視察団> 学校給食法や栄養士制度が無い中で、栄養管理や衛生管理が課題になっています。

今回の視察は、中国側の要望を踏まえ、田中理事長や国際委員会のメンバーがスケジュールを作成する中で、欠かせない視点は、日本の学校給食は学校給食法に基づき、教育として行われていることを理解していただくことです。

初日は、日本の学校給食制度についての説明、2日目は埼玉県立所沢特別支援学校を、3日目は千葉市新港学校給食センターと受配校の千葉市立高浜中学校を、最終日は千葉市立新宿小学校において、学校給食の管理と栄養教諭等が行う食に関する指導を見学しました。中国視察団からは「学校給食については、単に食事を提供するだけではなく、『食べる意味を教育すること』が大切であることが理解できた。栄養バランス、衛生管理が素晴らしい。」等の発言がありました。また、最終日の夕方には、(株)ジャパンライムのセミナールームにおいて、「中国の学校給食を学ぶ会」を開催し、中国の学校給食について説明を受けたのち、日本側参加者(約25名)との情報交換を行い、有意義な時間を過ごしました。



<中国視察団と「中国の学校給食を学ぶ会」の参加者>

二つ目は、10月16日(火)から一週間、カンボジア教育省のメンバー3名がNGOのFIDRカンボジア事務所の招聘により、日本の健康教育や保健指導に関する視察のため来日しました。カンボジア教育省の来日は昨年9月に続いて2度目になり、当法人においても12月にカンボジア教育視察団を派遣した際にお世話になった方々も来日しました。



FIDRが制作に関わった栄養教育の教材を学校に手渡すFIDR職員とチーム学校給食&食育のメンバーの皆さん

カンボジアでは、2021年から保健が必修の教科となり、小学1年～高校3年が週一回学ぶこととなります。そのため、FIDRカンボジア事務所の協力のもと、教科書作りが進められています。カンボジアには元々、「栄養」という概念がなく、小児病院においても栄養管理がされていませんでした。そこで、FIDRカンボジア事務所が、初の栄養調査を実施し、栄養摂取のガイドラインを作成しました。保健の中に、栄養教育をどのように盛り込むのか、保健の指導はどの教員が担うのか、教員の養成や資質向上をどのように行うのが、検討課題になっています。

また、現在、貧困地域である8州にWFP (World Food Program) が給食を実施し

<FIDR ニュースより>

ていますが、2021年からカンボジア政府に移管されるため、実施方法について模索しています。

初日の午後からは日本の健康教育についてのレクチャー、2日目の午前には東久留米市立第九小学校を訪問、栄養教諭の食に関する授業参観や保健室並びに給食の配膳・給食時間の視察および給食を試食、午後は、小平市立第六小学校を訪問し、教材の作り方を勉強しました。3日目は、教職員支援機構つくば中央研修センターを訪問し、教職員の資質向上の方策について学習しました。4日目の午前には、和洋女子大学を訪問し、管理栄養士を目指す学生たちの給食経営管理実習を参観、午後は、隣接する和洋国府台女子中学校高等学校を訪問し、保健室の見学と中学2年生の保健授業を参観、健康教育や教材について説明を受けました。最終日の10月22日は、再度、小平市立第六小学校を訪れ、給食室・保健室を見学後、栄養教諭による保健の授業を参観しました。

カンボジアの学校には、身長計や体重計はもとより、トイレさえも十分でない学校が多い状況ですが、将来設計をする上で、今回の視察は大いに参考になったものと思われま

す。本年度は、中国とカンボジアの2か国を受け入れるとともに「台湾の学校給食を学ぶ会」を開催しました。来年度以降も引き続き東南アジア地域を中心に日本の教育や学校給食制度の紹介を行ってまいりたいと思います。



<教員研修センターでのカンボジア視察団>

12月には、日本の学校給食関係者のグローバルな人材育成を目的に、台湾の教育・学校給食視察を予定しており、現在準備を進めています。(なお、今年の派遣者の選定は既に終了していますが、来年も実施しますので、ご興味のある方は積極的にホームページからご応募いただければと存じます。)

本法人は、会員の会費の他、趣旨に賛同いただいた学校給食関係企業の協賛金によって運営しています。また、料理教室に使用する食材を提供いただいている団体や企業もあり、まさに、「チーム学校給食」で食育を推進しています。

本法人の詳細については、以下のホームページをご覧ください。

<https://team-shokuiku.or.jp/>